

# 第 1 1 回全員協議会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 5 年 1 月 2 7 日 (金曜)		1 0 時 5 0 分 開会
	休 憩 11:35-12:00		
会議場所	本会議場		
出席議員 氏 名	議 長 早苗 豊	議 員 寺町 平一	議 員 渡辺洋一郎
	副議長 常通 直人	議 員 鈴木 健充	議 員 堀切 忠
	議 員 西尾 一則	議 員 中村 和宏	議 員 橋本 和仁
	議 員 柴田 正博	議 員 立川 美穂	議 員 中田 智恵子
	議 員 正村紀美子	議 員 梶澤 幸治	
欠席議員 氏 名			
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 安田敦史	総務係長 佐藤史彦	総務係主査 上田瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

## 1 開 会

議長が開会を告げ、事務局が日程を説明し協議する。

## 2 議 件

### (1) 協議事項

- ア 芽室高校との意見交換会の総括案について 資料 1
- イ 議会報告と町民との意見交換会実施結果について 資料 2
- ウ 自己評価制度の点検結果について 資料 3
- エ 白樺高校（1 学年）との連携協定事業実施要領案について 資料 4
- オ 令和 5 年度議会モニター制度の基本的な考え方について 資料 5
- カ 外部評価（高校連携協定事業・意見交換会）について（議員間討議）  
資料 6

## 3 その他

## 2 議 件

### (1) 協議事項

- ア 芽室高校との意見交換会の総括案について 資料 1
  - ・事務局長：昨年12月16日に開催した事業の総括。「4」に記載のとおり「選ばれる芽室高校の魅力化を考えよう」をテーマに議会から8名、高校から10名が参加し、3グループに分けて意見交換を行った。意見交換の概要は「6」に記載のとおり、「現状の共有」「課題の抽出」「対応策・解決策」として3つに区分して整理した内

容。「7」は総括として、「成果」「課題」「今後の取り組み」の3項目に整理した。「成果」は設定したテーマである「高校の魅力化」について、生徒が考える長所と短所の共通認識を図ることができたこと。「課題」は、聴取した意見を議会としてどのように取り扱っていくかということ。「今後の取組み」は、この事業を継続実施することとし、年度当初から学校と協議を始め、実施内容は学校のニーズも尊重し柔軟に対応していくこととして、まとめたものである。

- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・梶澤議員：総括を評価したい。今後に向けての確認となるが、担当教諭との打ち合わせの中で、高校側の参加対象について、拡大の可能性はあるのか？
- ・常通議員：芽室高校の校長・教頭先生をはじめ、担当教諭とは白樺高校との連携協定事業の例を共有するなどして、対象拡大について協議を続けている背景があるが、実現までには、まだ時間がかかりそうな感触である。
- ・議長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：総括で「課題」として整理した事項の対応については、今後、議運で協議することとし、提案内容について異議ないものとする。

イ 議会報告と町民との意見交換会実施結果について 資料2

- ・事務局長：前回（第10回）の全員協議会（12月21日開催）における協議結果を踏まえて、「物価高騰に対する今後の支援策」について、町内小中学校のPTA役員に対し、アンケートを実施した結果の報告となる。「資料2-1」の下段「7」の事業実績に記載のとおり、27件の回答があった。なお、すでに前回の全協で共通認識を図ったとおり、このアンケート結果については「6の（2）」に記載のとおり、聴取意見は両常任委員会の所管に振り分けて、今年度に限定せずに、今後に向けて継続調査をするものである。また、「資料2-2」はアンケート結果の詳細となり、設問1～3はグラフで分析し、設問4・5は自由記載の結果である。
- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・梶澤議員：学校側がPTAにアンケートを依頼した回答依頼数は把握しているか？
- ・渡辺議員：各学校等により、可能な範囲で協力を得ることとしたことから、回答依頼数は把握していない。
- ・梶澤議員：所管委員会への意見の振り分けについて、改選期を迎える中で先送りとすることにならないため、年度内に整理すべきと考えるが、今後のスケジュール概要は？
- ・中村議員：改選期以降の継続した取組みも視野に入れながら、可能な範囲で、年度内に整理を進めていきたい。
- ・梶澤議員：アンケート結果をさらに一定程度分析・整理し、共通認識の図られる資料整理を期待するがいかがか？
- ・中村議員：意見を踏まえて、常任委員会の取組みにつなげていきたい。
- ・立川議員：各PTAへの報告は？
- ・中村議員：両常任委員会から結果を報告したい。

- ・柴田議員：町の事業提案は首長の権限であり、議会として行う意見交換会の結果については、議会が首長に対して、こういった意見をいただいているということ共有することが役割だと考える。議会としては、町民との意見交換結果は、表決の参考情報であり、首長に伝えることと、議会が担うことを明確にしていく必要があると思う。執行機関ではなく議決機関としての役割を果たすことを重視すべきと考える。
- ・梶澤議員：もっともな御意見である。さらに申し上げれば、本町議会のフロー図（「町民との意見交換会」の意見・提案・要望等の取扱いフロー）に則って、いただいた意見を取扱っていくべきということも念頭に置くべきと考える。ケースによっては、いただいた意見を議会が主体となって、調査をする役割も存在すると考える。
- ・議長：他に意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：議会運営委員会として、意見を両常任委員会に仕分けして、その後、委員会で取扱いを協議・議論する流れとしたい。なお、今年度については、時間も限りがあることから、可能な範囲で取り組んでいただきたい。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議長：説明のとおり、意見聴取結果のまとめとする。

ウ 自己評価制度の点検結果について 資料3

- ・事務局長：「1：趣旨」に記載のとおり、今年度の活性化策の一つに位置付けた「自己評価制度の点検」について、これまで議運内で協議した内容を、本日は議会全体で共有し、今年度の取り組みの締め括り方を協議する目的である。また、「2：検討経過及び概要」の「(2) 第2回全員協議会（6月1日開催）」に記載のとおり、この点検にあたっては、議会が独自に議会内部で取り組むのではなく、包括連携協定を締結している「北海道公共政策大学院（HOPS）」の研究事業による提言を基に取り組むことの共通認識を図ったことから、「資料3-2」の「HOPS」からの提言（昨年12月受理）を、自己評価制度の検討課題として、本日、この場で議会内で共通認識を図り、今年度の取り組みの区切りとしたい。なお、「資料3-1」の「4：今後の検討手順（案）」に記載のとおり、この後、2月中旬をめどに最終整理をしようとするものである。そのため、今年度の自己評価は例年同様とするが、時期を1か月ほど前倒しし、2月末に実施し3月上旬に集約としたい考えである。
- ・議長：「資料3-1」について、質疑はないか？
- ・（質疑なし）
- ・議長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議長：提案のとおり共有する。

エ 白樺高校（1学年）との連携協定事業実施要領案について 資料4

- ・事務局長：前回（第10回）の全員協議会（12月21日開催）で共通認識を図った事業であり、すでに、今週火曜日に高校を会場として「事前学習」がスタートしているが、来週は「議場体験」を受け入れることから、改めて、日程等の確認をしたい。「資料4-1」の「5の（2）」に記載のとおり、議員の役割分担は、総務経済常任委員会が月・水、厚生文教常任委員会は火・木である。また、フィールドワークのシナリオは、昨年同様であり、資料4-3として2種類となっているので各自御確認いただきたい。
- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・橋本議員：確認であるが、フィールドワークの2種類のシナリオは、日程によって異なる活用か？
- ・常通議員：毎回の日程に、2つのシナリオで実施するものである。
- ・議長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議長：提案のとおり共通認識を図り、共有する。

オ 令和5年度議会モニター制度の基本的な考え方について 資料5

- ・事務局長：前回（第10回）の全員協議会（12月21日開催）で共通認識を図った今年度のモニター会議の総括を踏まえて、新年度のモニター制度の基本的な考え方を議運内で整理したので共有・協議するもの。特筆すべき事項は「4：ポイント」である。
- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・立川議員：高校生モニターの拡充について、活動のイメージは？
- ・正村議員：モニターの活動内容は、会議のみではないため、意見交換や意見聴取の対象として、高校生に対象を拡充することを検討しようという趣旨である。
- ・議長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議長：提案のとおり共有する。

カ 外部評価（高校連携協定事業・意見交換会）について（議員間討議） 資料6

- ・議長：今件については、議員間討議とする。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議長：ここで11時55分まで休憩とする。
- ・（休憩）
- ・議長：休憩を取り消し、会議を再開する。次回の全員協議会で継続して協議・整理し、議会内で共通認識を図ることにしたい。意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議長：提案のとおり決定する。

3 その他

- ・議長：「その他」で議員からないか？
- ・寺町議員：議員の期末手当について、制度の見直しを提案したい。
- ・議長：議会運営委員会で協議していただきたい。
- ・議長：事務局からないか？
- ・(なし)
- ・議長：以上で会議を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。

令和5年1月27日

芽室町議会議長 早 苗 豊